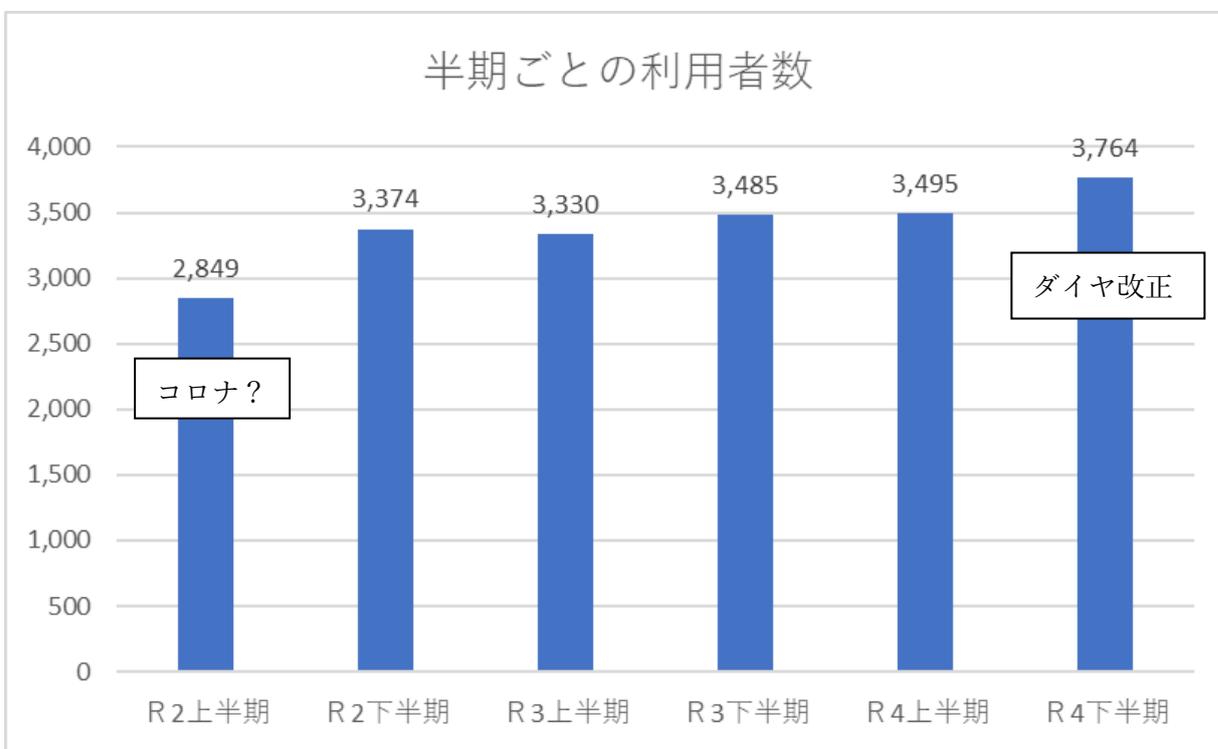
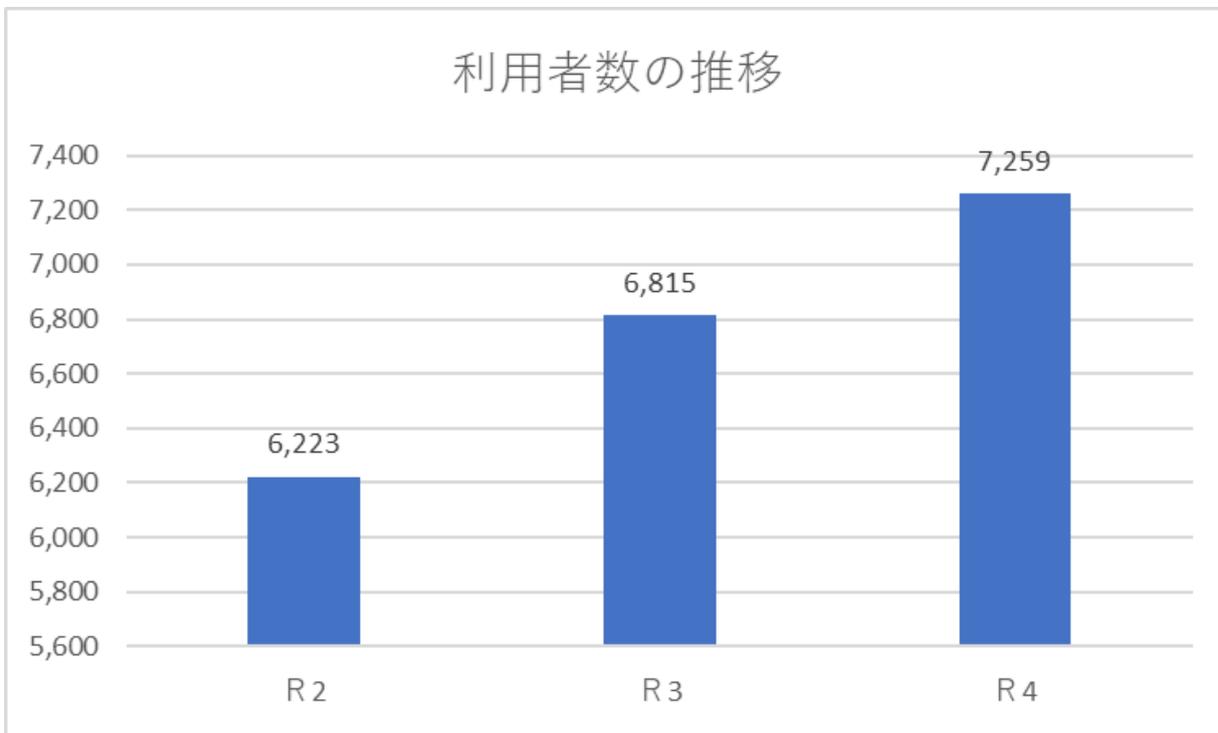


1. 楽ちんバスの利用状況について



2. 山ノ内町デマンド交通の検討について

楽ちんバスの課題

- ①須賀川地区のご要望 → 中野市への乗換なしでの乗り入れ
- ②宇木地区のご要望 → 将来的な公共交通の整備
- これに合わせて → 楽ちんバスは時間帯によって利用率がまばら
乗降するバス停留所の差が激しい

という3つの課題。これらの課題に対して、包括的に取り組む必要がある。

◎取組の方向性

⇒中野市への乗入れ、宇木区への公共交通の将来的な整備を行うため、運行を効率化して、活用できる時間を捻出する

【参考】楽ちんバスの便別の利用率（西北部ルートのみ）

1便	6:33 裏落合発	→	7:01 夜間瀬駅着	0.8人/日	(通勤便)
2便	8:06 裏落合発	→	8:43 湯田中駅着	3.5人/日	
3便	9:39 裏落合発	→	10:16 湯田中駅着	2.6人/日	
4便	10:21 湯田中駅発	→	10:58 裏落合着	1.2人/日	} 効率化必要
5便	11:43 夜間瀬駅発	→	12:11 裏落合着	1.5人/日	
6便	13:00 湯田中駅発	→	13:37 裏落合着	1.7人/日	
7便	13:44 裏落合発	→	14:21 湯田中駅着	1.0人/日	
8便	15:46 湯田中駅発	→	16:23 裏落合着	2.2人/日	
9便	16:58 夜間瀬駅発	→	17:26 裏落合着	1.4人/日	(通勤便)

通勤・通学で必要な朝と夕の便を除いて、AIセミデマンド交通を試験導入し、運行を効率化し、効率化した時間を活用し、中野市への乗入れ、宇木区への公共交通整備を目指したい。

AIセミデマンド交通とは？

停留所で乗り降りする点では、これまでの楽ちんバスと変わらないが、予約があった便、乗り降りの予約があった停留所のみを運行する交通体系

3. 試験運行（案）の概要

(1) 期 間 令和5年11月1日～令和6年1月31日（3か月間）

(2) 目的地 夜間瀬駅・役場・つつみ住民活動C・湯田中駅に加え、

ツルヤ・北信病院・信州中野駅

(3) 運行便

1便 6:33 裏落合発 → 7:01 夜間瀬駅着 （楽ちんバス）

2便 8:06 裏落合発 → 8:43 湯田中駅着 （楽ちんバス）

3便（往路） 9:32～10:02の間 西北部地区にて利用者を乗せる
⇒ 10:05～10:27頃 利用者を各目的地で降ろす
◎午前に直接乗り入れて中野市方面へ向かう便（9:39 裏落合発の代替）

4便（復路） 10:37～10:59の間 各目的地にて帰りの利用者を乗せる
⇒ 11:02～11:32頃 利用者を西北部地区で降ろす
◎1便および2便で中野市方面へ行った方の帰りの便（10:21 湯田中発の代替）

5便（復路） 12:07～12:29の間 各目的地にて帰りの利用者を乗せる
⇒ 12:32～13:02頃 利用者を西北部地区で降ろす
◎3便で中野市方面へ行った方の帰りの便
（11:43 夜間瀬駅発の代替、13:00 湯田中駅発の代替）

6便（往路） 13:40～14:13の間 西北部地区にて利用者を乗せる
⇒ 14:18～14:35頃 利用者を各目的地で降ろす
◎午後に直接乗り入れて中野市方面へ向かう便（13:44 裏落合発の代替）

7便（復路） 16:01～16:23の間 各目的地にて帰りの利用者を乗せる
⇒ 16:23～16:56頃 利用者を西北部地区で降ろす
◎6便で中野市方面へ行った方の帰りの便（15:46 湯田中発の代替）

8便 16:58 夜間瀬駅発 → 17:26 裏落合着 （楽ちんバス）
⇒17:11 夜間瀬駅発 → 17:39 裏落合着 （楽ちんバス）
◎運行時間の変更

(4) 運賃

町内⇄町内の利用は 100 円

町内⇄中野市の利用は 500 円

●本格導入の際は、お得な年会費制を検討

【参考】

西北部地区から中野市までの現在の運賃

- ・夜間瀬駅で長電バス上林線に乗り換え 340 円
- ・夜間瀬駅で長野電鉄に乗り換え 480 円

東部地区から中野市までの現在の運賃

- ・長電バス上林線 630 円
- ・長電バス上林線と長野電鉄を利用 590 円

南部地区から中野市までの現在の運賃

- ・長電バス菅線 570 円
- ・楽ちんバスと長野電鉄を利用 440 円

全地区の平均値 508 円

(5) AI セミデマンド交通への乗り方

- ①利用登録
- ②利用したい便の 1 時間前までに電話またはスマートフォンから予約
※3 便（当日一発目のデマンド）の利用は、前日までに予約
- ③指定された時間にバス停留所で待機
- ④運賃を支払い乗車

4. 今後のスケジュール

- ・町分科会での説明
- ・令和 5 年 11 月～ 試験運行
- ・試験運行を経て、利便性調査のうえ、本格導入を検討（令和 6 年 10 月）
※本格導入の際は、試験運行に加え、イオン・熊木整形外科などを追加の想定

まずは、試験運行でデマンド交通に触れてみてください。